

【お手本用】 ノートのマスの左にお手本をおいて、よく見ながら練習しよう。

「四字熟語（よじじゅくご）」を書こう①



| 熟語 | よみ | 意味 |
|------|----------|---|
| 一意投合 | いきとうごう | 気持（きも）ちや考（かんが）えなどが一致（いっち）すること |
| 以心伝心 | いしんでんしん | 口に出さなくても、おたがいに心（こころ）の内（うち）が伝（つた）わること |
| 一念発起 | いちねんほっき | なにかをなしとげようと、大きな決心（けっしん）すること |
| 一喜一憂 | いっきいちゆう | 小さなことで喜（よろこ）んだり不安（ふあん）になったりしてしまうこと |
| 一挙両得 | いっきりょうとく | 一つの行動（こうどう）で、二つの利益（りえき）を得（え）ること。「一石二鳥（いっせきにちょう）」と同（おな）じ |
| 意味深長 | いみしんちょう | 奥深（おくぶか）い意味（いみ）をもっていること |

【お手本用】 ノートのマスの左にお手本をおいて、よく見ながら練習しよう。

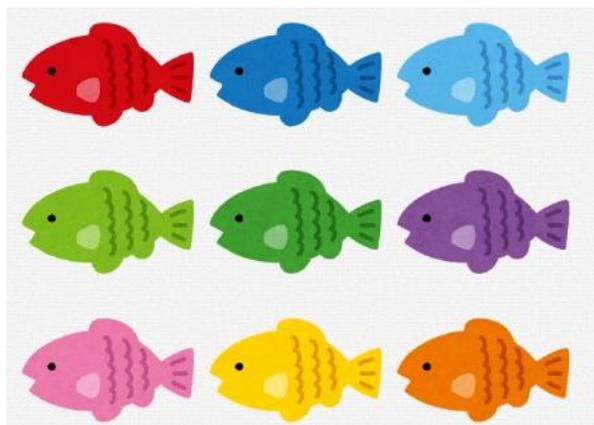
「四字熟語（よじじゅくご）」を書こう②



| 熟語 | よみ | 意味 |
|------|-------------|---|
| 我田引水 | がでんいんすい | ほかの人のことを考えず、自分に都合（つごう）がいいように言ったり行動（こうどう）したりすること |
| 画竜点睛 | がりょうてんせい | 物事（ものごと）を完成（かんせい）するために、最後（さいご）にする大事（だいじ）な仕上（しあ）げのこと |
| 喜怒哀楽 | きどあいらく | よろこび、いかり、かなしみ、たのしみ。さまざまな人の感情（かんじょう）のこと |
| 五里霧中 | ごりむちゅう | きりで先が見えないように、どうしたらよいかわからず困（こま）ること |
| 自業自得 | じごうじとく | 自分のしたことの結果（けっか）は自分が受（う）けることになる、ということ |
| 弱肉強食 | じゃくにくきょうしょく | 弱（よわ）い者（もの）が強（つよ）い者のえじきになること。力のある者が勝（か）つということ |

【お手本用】 ノートのマスの左にお手本をおいて、よく見ながら練習しよう。

「四字熟語（よじじゅくご）」を書こう③



| 熟語 | よみ | 意味 |
|------|----------|--|
| 十人十色 | じゅうにんという | 考（かんが）えや好（この）み、性質（せいしつ）などが、人によってそれぞれちがうということ |
| 絶体絶命 | ぜったいぜつめい | 危険（きけん）からどうしてもにげられず、おいつめられているさま |
| 大器晩成 | たいきばんせい | 本当に偉大（いだい）な人は、年を重（かさ）ねてからそうなるということ |
| 日進月歩 | にっしんげっぽ | 日々たえまなく、どんどん進歩すること |
| 無我夢中 | むがむちゅう | 一つのことにはすっかり心を奪（うば）われて、我（われ）を忘（わす）れてしまうさま |
| 臨機応変 | りんきおうへん | その時（とき）、その場（ば）に適（てき）した行動（こうどう）をとること |

【お手本用】 ノートのマスの左にお手本をおいて、よく見ながら練習しよう。

「四字熟語（よじじゅくご）」を書こう④



| 熟語 | よみ | 意味 |
|------|-----------|--|
| 七転八起 | しちてんはっき | いくら失敗（しっぱい）してもくじけず、立ち上がって努力（どりょく）すること |
| 背水之陣 | はいすいのじん | 決死（けっし）の覚悟（かくご）で戦（たたか）いにいどむこと |
| 温故知新 | おんこちしん | 前に学んだことや昔（むかし）のことを調（しら）べて、新たな知識（ちしき）を得（え）ること |
| 一所懸命 | いっしょけんめい | 命（いのち）がけでものごとに取（と）り組（く）むこと |
| 前途洋洋 | ぜんとようよう | 人生が大きく開（ひら）けていて、希望（きぼう）に満（み）ちあふれているさま |
| 大願成就 | たいがんじょうじゅ | 大きな望（のぞ）みがかなえられること |